

発表項目 (行事名)	「ニュージーランドと北海道との交流会議」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ ニュージーランドと北海道では、平成29年5月18日に交わした「北海道と駐日ニュージーランド大使館とのパートナーシップに関する覚書」に基づき「NZ・北海道酪農協力プロジェクト」や「NZ・北海道羊プロジェクト」を実施するなど、農業分野での交流を進めているところです。</p> <p>○ 今般、より一層交流を深めるとともに、今後の連携協力について意見交換等を行うため、第3回「ニュージーランドと北海道との交流会議」を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>【意見交換会】</p> <p>○ 開催日時：令和元年5月8日(水) 10:00～12:00</p> <p>○ 開催場所：ホテルポールスター札幌 4階 ライラック (札幌市中央区北4条西6丁目)</p> <p>○ 出席者：NZ 第一次産業省 アレン主席アドバイザー 駐日NZ大使館 ケル臨時代理大使、ガイ参事官ほか 北海道庁 梶田農政部長、宮田生産振興局長、 池田国際交流室長 ファームエイジ社、フォンテラジャパン社、 ホクレン、北海道めん羊協議会、道総研ほか</p> <p>○ その他：意見交換会開催後、8日(水)午後から9日(木)にかけて、現地調査を実施。</p> <p>&lt;視察先&gt; えこりん村(恵庭市)、馬場牧場(由仁町)、 よつ葉乳業(株)十勝主管工場、(株)北海道畜産公社十勝工場</p>		
参考	今回の交流会議は、平成29年2月(道内)、平成30年2月(ニュージーランド)に続く、3回目の開催となります。		
報道に当たってのお願い	<p>当日の意見交換会の積極的な取材について、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、現地調査の取材は、防疫の観点等からご遠慮いただいておりますので、ご容赦願います。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当 (連絡先)	農政部 生産振興局 畜産振興課 酪農グループ (担当者：下井・加藤) TEL ダイヤルイン 011-204-5438 内線 27-754		

北海道と駐日ニュージーランド大使館との  
パートナーシップに関する覚書

北海道と駐日ニュージーランド大使館は、北海道とニュージーランドのこれまでの交流実績を活かしつつ、共通のテーマで交流を進め、相互利益に基づく協力関係の更なる発展を展望し、本覚書を以下に基づき実施する。

目的

本覚書の目的はそれぞれの国で適用される法律、規制及び両国の資源管理に関連する原理の厳守を前提にして、相互協力を奨励し促進するための協力関係の基礎を築くことである。

協力分野

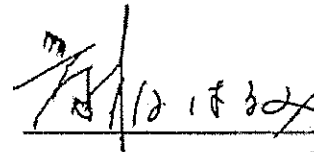
両者の協力分野は以下のものを含む。

1. 酪農・畜産、アイヌとマオリの先住民交流、人材育成等、共通の関心分野における両地域の協働に向けた意見交換の実施
2. ニュージーランド北海道酪農協力プロジェクトの推進
3. 2019年のラグビーワールドカップおよび2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてラグビーの知名度を向上すべく、両地域の協働に向けた意見交換の実施
4. 上記分野での協力を促進するために、両地域が合同で行う会合や会議の開催、セミナー、ワークショップ、展示会、シンポジウムの実施などの支援
5. 北海道とニュージーランドのパートナーシップを前進させる、その他の共通の関心分野における両地域の協働に向けた意見交換を実施

附則

本覚書による協力は両者の署名によって開始され、五年間の効力を持つ。これは両者の合意によって五年間の延長をすることができる。また、両者は一方への九十日前の通知により、いつでも本覚書による協力を終結させることができる。両者の書面による決定がない限り、本覚書による協力の終了は、本覚書の有効期間内に開始された協力活動の遂行に影響を与えてはならない。

本覚書は2017年5月18日、日本語及び英語によりそれぞれ二部作成され日本国北海道にて署名する。



北海道知事  
高橋はるみ



駐日ニュージーランド大使館  
特命全権大使  
スティーブン・ペイトン